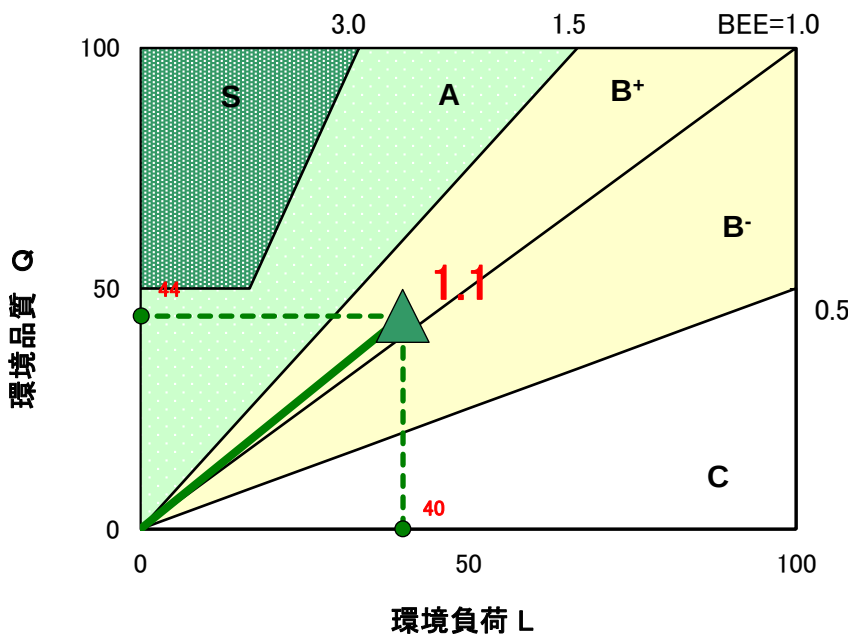


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	株式会社どんどんライス 熊本工場	階数	地上2F	
建設地	熊本県熊本市南区会富町字河田33	構造	S造	
用途地域	都市計画区域内(市街化調整区域)	平均居住人員	60 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	5,800 時間/年	
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年12月12日	
敷地面積	4,105 m ²	作成者	西岡 美佐	
建築面積	1,638 m ²	確認日	2019年12月12日	
延床面積	2,191 m ²	確認者	伊東	

1 CASBEE評価結果																																																
■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																																
  ■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示) 			BEE = 1.1 ■ BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$ ■ 環境効率評価基準 <table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table> ■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準 <table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>		ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—	判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆
ランク	ランク表示	評価	判定値																																													
			BEE値	Q値																																												
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																												
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																												
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																												
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																												
C	★	劣る	0.5未満	—																																												
判定値(排出率)	ランク表示																																															
30%以下	☆☆☆☆☆																																															
30%超60%以下	☆☆☆☆																																															
60%超80%以下	☆☆☆																																															
80%超100%以下	☆☆																																															
100%超	☆																																															
			排出率																																													
			86%																																													

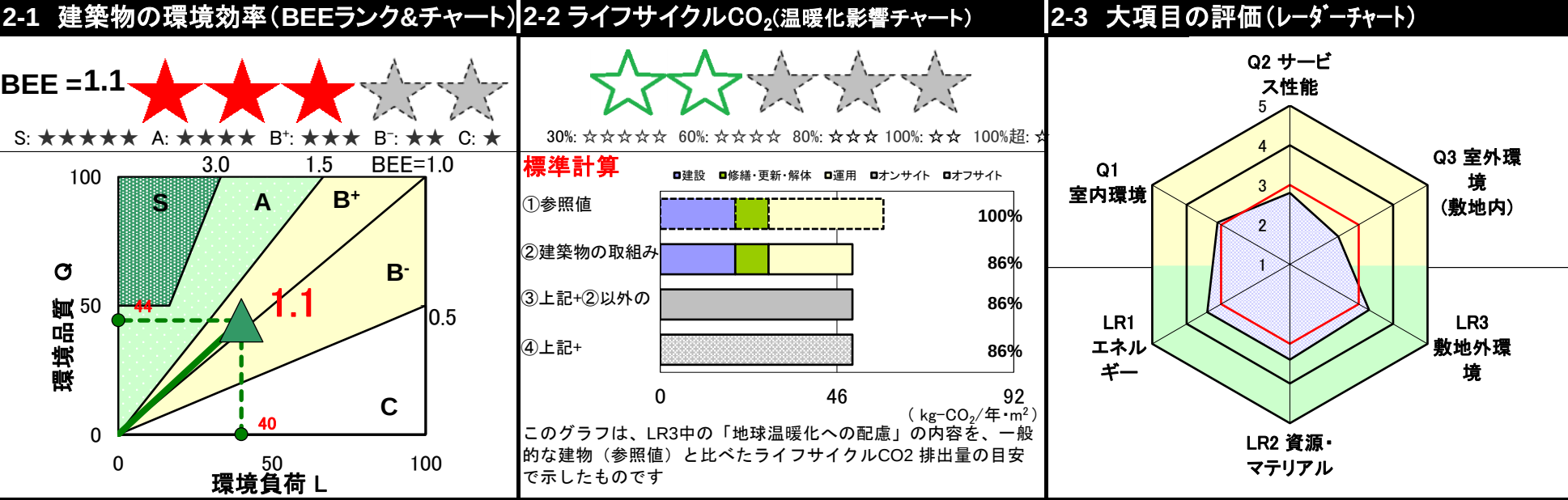
2 熊本県重点評価結果				
■ 重点事項総合評価				評価点
				73
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	評価点	71.5	■ 熊本県重点評価基準	
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	評価点	66.2		
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	評価点	82.5		
【重点事項4】 循環型社会の実現	評価点	75.0		
			判定値(評価点)	ランク表示
			100点以上	
			80点以上100点未満	
			60点以上80点未満	
			40点以上60点未満	
			40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。				

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	株式会社どんどんライス 熊本工場	階数	地上2F		
建設地	熊本県熊本市南区会富町字河田33	構造	S造		
用途地域	都市計画区域内(市街化調整区域)	平均居住人員	60 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	5,800 時間/年(想定値)		
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年12月12日		
敷地面積	4,105 m ²	作成者	西岡 美佐		
建築面積	1,638 m ²	確認日	2019年12月12日		
延床面積	2,191 m ²	確認者	伊東		



CASBEE-建築(新築)2016年版
株式会社どんどんライス 熊本工場 新築工事■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.7
Q1 室内環境							0.30		-	3.1
1 音環境						2.7	0.15	-	-	2.7
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音						3.4	0.40	-	-	
1		開口部遮音性能		遮音性能T-2を満たす		5.0	0.60	-	-	
2		界壁遮音性能				1.0	0.40	-	-	
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	
4		界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	
1.3 吸音						1.0	0.20	-	-	3.0
2 温熱環境						3.0	0.35	-	-	
2.1 室温制御						3.0	0.50	-	-	
1		室温				3.0	0.38	-	-	
2		外皮性能				3.0	0.25	-	-	
3		ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	-	-	3.0
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						3.0	0.25	-	-	
3.1 昼光利用						3.0	0.30	-	-	
1		昼光率				3.0	0.60	-	-	
2		方位別開口				-	-	-	-	
3		昼光利用設備				3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	-	-	
1		昼光制御				3.0	1.00	-	-	
3.3 照度						3.0	0.15	-	-	3.8
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.8	0.25	-	-	
4.1 発生源対策						4.0	0.50	-	-	
1		化学汚染物質		F☆☆☆☆の積極的な採用		4.0	1.00	-	-	
4.2 換気						3.3	0.30	-	-	
1		換気量				3.0	0.33	-	-	
2		自然換気性能		(サントップ事務所) (1/10) LV5 (事務所1) (1/40) LV3		4.0	0.33	-	-	
3		取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理						4.0	0.20	-	-	3.8
1		CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-	
2		喫煙の制御		喫煙室の設定		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	2.8
1 機能性						2.7	0.40	-	-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ						2.3	0.40	-	-	
1		広さ・収納性				1.0	0.33	-	-	
2		高度情報通信設備対応				3.0	0.33	-	-	
3		バリアフリー計画				3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性						2.6	0.30	-	-	
1		広さ感・景観		天井高:2.7m		4.0	0.33	-	-	
2		リフレッシュスペース				3.0	0.33	-	-	
3		内装計画				1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理						3.5	0.30	-	-	3.0
1		維持管理に配慮した設計		①ビニルクロス貼②長尺シート張り、タイルカーペット張り ③適度な水使用可 ④ホコリの溜まりにくい設計⑥一室で異なる床材の使用なし ⑩両鉛めっき S11Cを使用⑪極力段差のない動線		4.0	0.50	-	-	
2		維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1		耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2		免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.3	0.30	-	-	
1		躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-	
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		亜鉛めっき、ステンレスを使用		4.0	0.10	-	-	
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		B以上を使用。Eの使用なし		5.0	0.20	-	-	
6		主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.0	0.20	-	-	
1		空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2		給排水・衛生設備		①節水器具の採用②可能な限り配管の系統を区分③井水使用		4.0	0.20	-	-	
3		電気設備				3.0	0.20	-	-	
4		機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	

		5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3	対応性・更新性				2.7	0.30	-	-	2.7
	3.1	空間のゆとり			2.2	0.30	-	-	
		1	階高のゆとり		1.0	0.60	-	-	
		2	空間の形状・自由さ	0.1≦0.15≦0.3	4.0	0.40	-	-	
	3.2	荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
	3.3	設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
		1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
		2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
		3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
		4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
		5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
		6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)				-	0.40	-	-	2.4
1	生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3
LR1	エネルギー				-	0.40	-	-	3.4
1	建物外皮の熱負荷抑制				-	-	-	-	-
2	自然エネルギー利用				3.0	0.13	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	LED照明	BEI:0.73		3.7	0.63	-	-	3.7
4	効率的運用				3.0	0.25	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
		4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
		4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
		集合住宅の評価			-	-	-	-	
		4.1	モニタリング		-	-	-	-	
		4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.4
1	水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	節水コマ・省水型機器・自動水栓・節水型便器を使用している		4.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
		1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
		2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減				3.3	0.60	-	-	3.3
	2.1	材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	フリーアクセスフロア・軽量鉄骨		5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
		1	消火剤		-	-	-	-	
		2	発泡剤(断熱材等)	硬質ウレタンフォーム(ノンフロン) グラスウール	5.0	0.50	-	-	
		3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率:87%		3.5	0.33	-	-	3.5
2	地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1	大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
		1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
		2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
		3	交通負荷抑制	十分な駐輪場、駐車場の確保 荷捌用スペースの確保、出入口を矢印表示	5.0	0.25	-	-	
		4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮				3.4	0.33	-	-	3.4
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	-	
		1	騒音		-	-	-	-	
		2	振動		-	-	-	-	
		3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.67	-	-	
		1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
		2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
		3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制			4.4	0.33	-	-	
		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	・光害対策ガイドラインの過半を満たす。	5.0	0.70	-	-	
		2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

敷地の周囲を田圃と食品工業団地が取り囲む中に建設される食品工場です。
建物を敷地の中央に配置し、敷地周囲に緑地と通路を配置し、周囲との景観の調和を図った。
全面道路と建物の間には、緑地、駐車場、通路を配置し十分に距離を取り、建物の圧迫感の緩和を図った。

Q1 室内環境

- ・ F☆☆☆☆ 建材を使用。
- ・ 24時間換気を設置。
- ・ 喫煙は建物内1カ所に集約し、建物内の空気質環境の向上を図った。

Q2 サービス性能

- ・ 設備機械の配置は、出来るだけ屋上に集約しメンテナンスの簡便化を図った。
- ・ 設備システムのメンテナンスを考慮しキャットウォークを設けた。

Q3 室外環境（敷地内）

- ・ 敷地内に緑地や緑化駐車場を設け、暑熱環境に配慮した。

LR1 エネルギー

- ・ 外壁に $t=120$ ALCを採用し、断熱性、遮熱性を高めた。

LR2 資源・マテリアル

- ・ 使用する建材は全て、ノンフロン、ノンアスベスト。

LR3 敷地外環境

・ 駐車場、駐輪場を無理なく配置し、敷地出入口・荷搬出搬入口付近での車両の軌跡を検討し、敷地内や敷地周辺の交通負担軽減を配慮した。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 株式会社どんどんライス 熊本工場 新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果					総合評価点	73
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				71.5	0.40	28.60
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	0.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	3.7	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				66.2	0.20	13.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				82.5	0.20	16.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				75	0.20	15.00
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.3	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	2.7	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数